

障害者虐待に関する調査結果について（平成27年度分）

厚生労働省による「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）に基づく対応状況等に関する調査」について、県分の調査結果がまとまりましたので公表します。（平成27年4月1日から平成28年3月31日の調査結果。全国データは、後日厚生労働省が発表する予定です。）

<宮城県の調査結果推移>

（単位：件）

類型	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1 障害者福祉施設従事者等による虐待	相談・通報・届出	12	19	35	33
	虐待の事実有り	3	4	9	6

※ 件数は、県及び市町村が対応した件数

※ 平成24年度は調査初年度で平成24年10月から平成25年3月までの6か月間の件数

1 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待への対応状況等

（1） 相談・通報・届出件数

平成26年度	平成27年度	増減
35件	33件	△2件（△5.7%）

（2） 相談・通報・届出者

「家族・親族」が17.6%と最も多くなっている。

相談・通報者	人数	比率（%）
被虐待者本人	5	14.7
家族・親族	6	17.6
近隣住民・知人	4	11.8
医療機関関係者	1	2.9
相談支援専門員	2	5.9
当該施設・事業所設置者・管理者	2	5.9
当該施設・事業所職員	4	11.8
当該施設・事業所元職員	2	5.9
当該市町村行政職員	3	8.8
その他	5	14.7
合計	34	100.0

注）1件の事例について複数人から相談・通報・届出があった場合は重複して計上。

（3） 県及び市町村による虐待事実の確認調査結果

虐待の事実が認められた事例は6件であった。

種別	件数	比率（%）
虐待の事実が認められた事例	6	18.2

虐待の事実が認められなかった事例	5	15.1
虐待の事実の判断に至らなかった事例	17	51.5
明らかに虐待はなく、事実確認調査不要等	5	15.2
合計	33	100.0

注) 1件の事例について複数の市町村が事実確認調査を行った場合は重複して計上。

(4) 虐待の状況

①虐待の種別

身体的虐待	1件
性的虐待	2件
心理的虐待	4件
放棄・放置	0件
経済的虐待	1件
合計	8件

②サービス種別

就労継続支援B型	4件
共同生活援助	1件
短期入所	1件
障害者支援施設	0件
生活介護	0件
放課後等デイサービス	0件
合計	6件

注) 1件の事例について複数の虐待種別があった場合は重複して計上。

③虐待を行った従事者の職種

管理者	3人
職業指導員	1人
生活支援員	3人
設置者・経営者	1人
合計	8人

④県及び市町村が障害者虐待に対して取った措置

施設・事業所に対する指導	5件
施設・事業所からの改善計画の提出依頼	5件
虐待を行った障害者福祉施設従事者等への注意・指導	1件
報告徴収, 質問, 立入検査	0件
改善勧告	0件
指定の効力の全部又は一部停止	0件
合計	11件

注) 1件の事例において複数人が虐待を行っていた場合は重複して計上。

注) 1件の事例に対して同種の措置を複数回行った場合でも1件として計上。